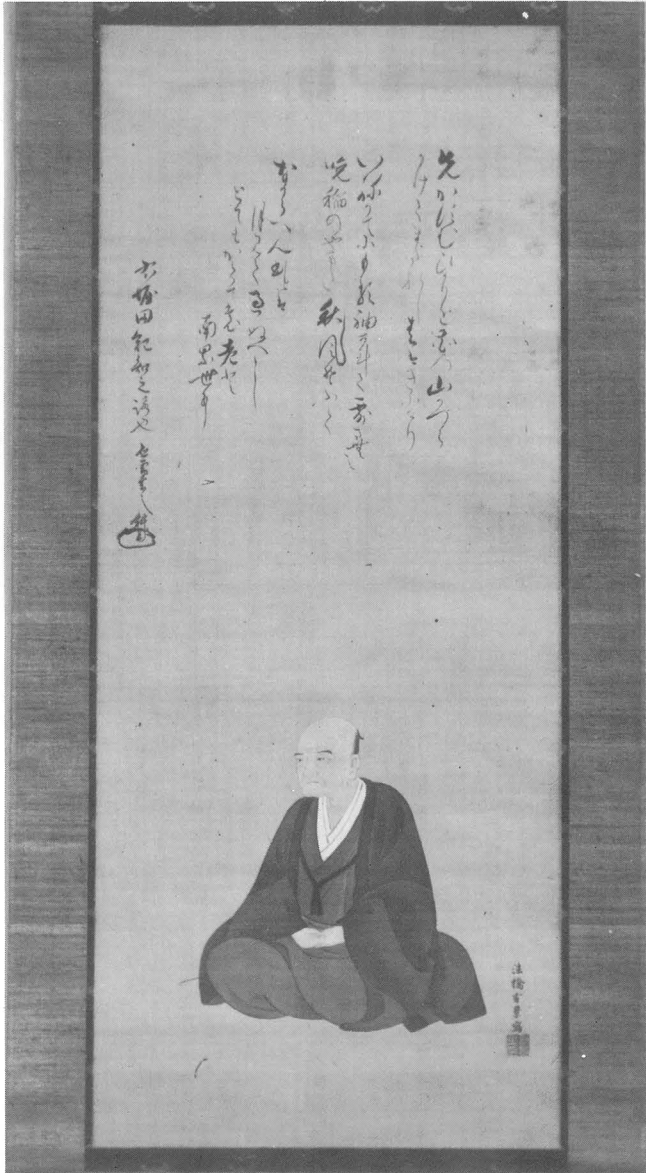


堀田文庫藏書目錄

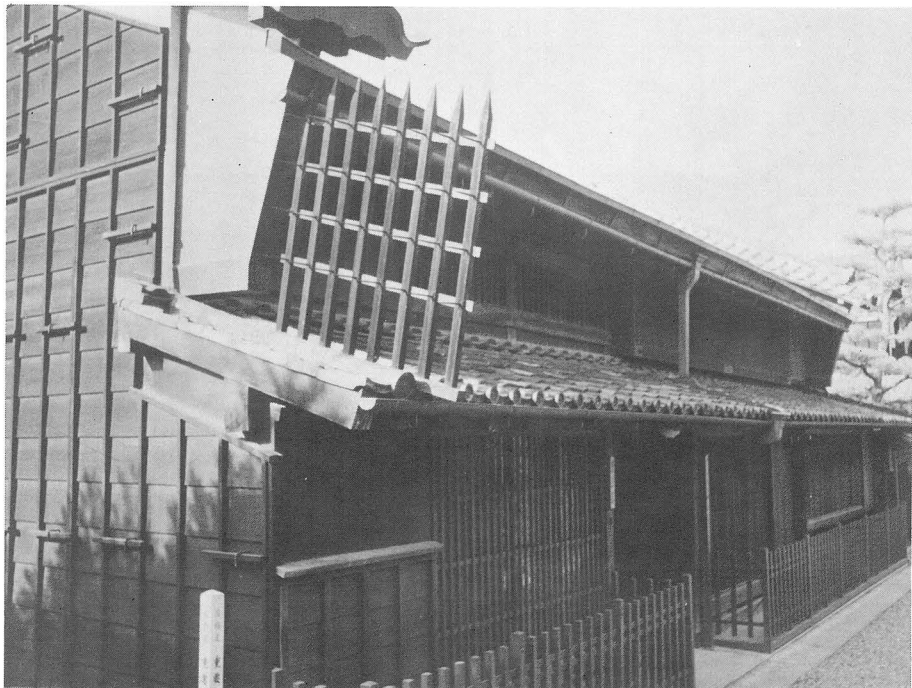
名古屋市蓬左文庫

堀田文庫藏書目錄

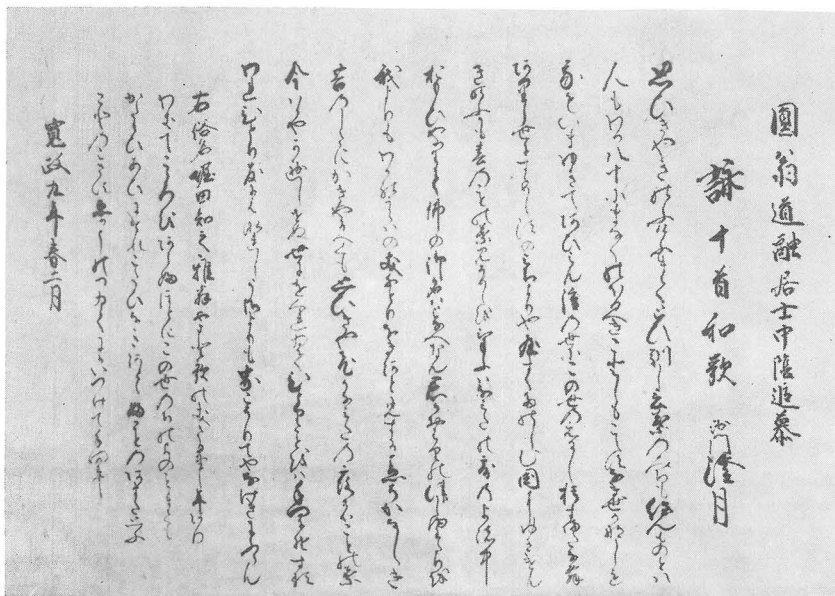
名古屋市蓬左文庫



堀田知之像 堀田家藏

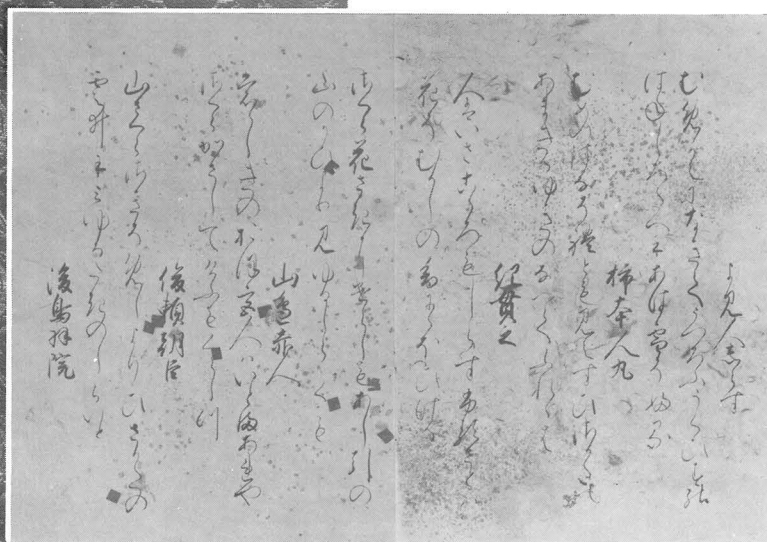


堀田邸（国指定重要文化財）

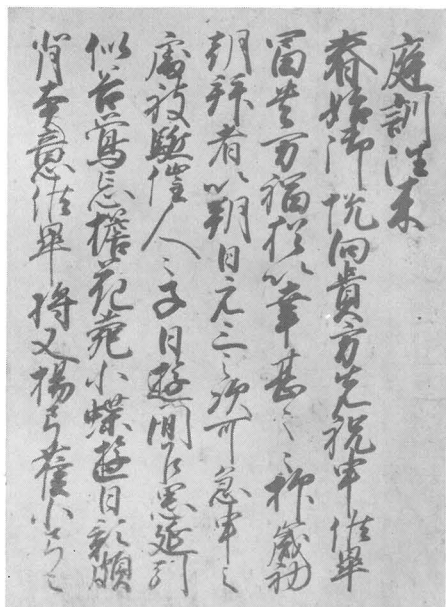


円翁道融居士（知之）中陰追慕

積 澄月（自筆）



詠 歌 大 概



庭 訓 往 来

正井の巻 上様 五木
 二巻にお
 けり頌の巻
 御座る指 とうごまよ
 肩衝
 茶竹堂天目
 打ち石の 二はひちん
 せんはり 倉敷うはり 菜汁
 くのりんせり くのりんせり
 くのりんせり くのりんせり

三井方々書 冬来冬来
 中巻にお 山牛右内右
 せしむ指 くのりんせり
 肩衝四方盤 くのりんせり
 ふ玉茶碗 くのりんせり
 ありたり くのりんせり
 竹の くのりんせり
 草又 くのりんせり
 湘戸あしり くのりんせり

利休百会茶会記

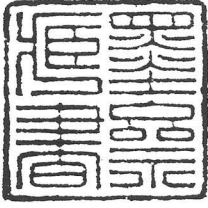
蘿窓集
 折備
 名所五月
 松風志業

静寂退休
 退隱後政
 並明

蘿窓集
 堀田知之筆

蘿窓集（堀田知之筆）

堀田文庫の蔵書印(原寸大)



墨齋蔵書



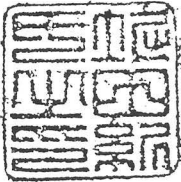
木吾



木吾



木吾



堀田紀氏之印



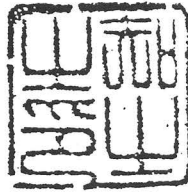
知之



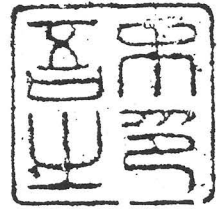
似琴樓



知之印・蔵書



知之之印・蔵書



木吾之印・蔵書



例言

一、この目録は、愛知県津島市の堀田英一郎氏嗣子克之氏（鎌倉市在住）から本文庫に寄託された「堀田文庫」の蔵書およそ六百部、一千五十余点を収載したものである。

堀田家は津島神社祠官の流れを汲む室町時代以来の旧家で、江戸時代には酒造と金融とを業として富を築き、また、文学や諸芸を修めて教養ゆたかな人物を多く出した。六世知之（享保四年生、寛政九年没。1719—97）はその代表者で、通称は理右衛門、墨齋・木吾・似琴などと号し、国学はじめ和歌・俳諧その他茶道・謡曲等の学芸に通じ、元文・寛保の頃から寛政年間にかけて、文人としての名を高めた。今回の寄託書も過半は知之の編者もしくはその筆に成る写本で、種類も国学・和歌・俳諧に関するものが圧倒的に多く、江戸中期における尾張文人のコレクションとして、文学的にも史料的にも高く評価されるであろう。なお、堀田家の系譜や知之の人となりについては久田和彦氏編述の「文人堀田知之と年譜」（昭和五十四年刊、堀田英一郎氏発行）を参照されたい。また、現堀田邸（口絵写真版・正徳年間建造、明和年間修理）は、江戸中期の商家の遺構を良好な保存状態で伝えており、国の重要文化財に、さらに知之の墓碑（法名円翁道融居士）も津島市文化財に指

定されている。

一、分類は「蓬左文庫国書分類目録」に準拠したが、堀田文庫蔵書の実状に応じて若干の変更と簡略化を加えた。総じて写本（自筆本を含む）に富むが、俳書は刊本も少くないので、これを刊・写の二部に分けたのはその一例である。なお、随筆や紀行は、内容が一般的なものは「総記」ないし「地誌」に、和歌・俳諧に關係の深いものは「文学」の部に収めた。

一、記載は書名・著編者名・刊写年代・巻冊数・番号の順序にしたがい、番号の総称には「堀」の一字を用いた。排列は、一つの分類項目中では、おおむね成立もしくは刊写の年代順としたが、多少の例外はなしとしない。なお、角括弧を付したものは、書名においては仮題、刊写年代の場合は推定である。

一、字体は、漢字・仮名ともに現行のものに改めた。

一、巻末に五十音順の書名索引を添えたが、訓みの明らかでないものは一応音訓みとした。

昭和五十七年十二月

目次

一 総記

1	図書目録	一
2	随筆・雑抄	一

二 哲学・宗教

1	総記	五
2	神学・神道 神社・神事	五
3	仏教	一一

4	儒教	一一
---	----	----

三	教育・教訓	一三
---	-------	----

四	歴史・伝記 文書・記録	一四
---	----------------	----

五	地誌・紀行	一六
---	-------	----

六	言語	一七
---	----	----

七 文学

1	物語・小説	一七
2	文集	一一
3	随筆（和歌・俳諧）	一九
4	紀行・日記（和歌・俳諧）	二一

5 和歌

(1) 歌学・作法……………二二三

(2) 歌集……………二二九

6 俳諧

(1) 刊本……………四三

(2) 写本……………四五

7 漢詩文……………五一

八 芸 術

1 繪記……………五三

2 書・画……………五三

3 音楽・歌謡……………五四

4 茶湯・生花……………五五

5 遊戯……………五六

九 政治・法制 有職故実……………五七

一〇 医学・理学……………五九

一一 兵事・武具……………六〇

一二 雜付、書簡……………六一

索引……………六七

堀田文庫蔵書目録

一 総記

1 図書目録

知之翁蔵書目録

宝曆九年写

一冊

堀・二六

2 随筆・雑抄

異域同日譚

真野時綱

江戸中期写

一冊

堀・七六

時綱先生隨筆之拔書

初錦 木物語

聞 見 雜 錄

野語述說拔書

〔怪談 全 書〕

知之隨筆(雜記)

同 (雜記) 上州百姓騷動他

同 將軍宣下之筆記他

同 盍簪亭詞・琉球
人來聘之紀事他

同

同

同

同

江戸中期写

宝永八年写

堀田之仲
江戸中期写(自筆)

同 (堀田之仲筆)

同 (同)

堀田知之編
宝曆―明和年間写(自筆)

同 編 享保二〇―明和五年写(同)

同 編 天明五―八年写(同)

同 編 寛政元年写(同)

同 編 同 二年写(同)

同 編 同 三年写(同)

同 編 同 四・五年写(同)

同 編 写(同)

一冊 堀・二三

一冊 堀・七三

一冊 堀・二〇六

一冊 堀・一〇三

一冊 堀・一〇一

一冊 堀・二九

一冊 堀・二二

一冊 堀・二七

一冊 堀・一〇五

一冊 堀・一〇六

一冊 堀・一〇三

一冊 堀・二三

一冊 堀・二四

○

	同	無名抄・新無名抄・和漢三才図会	同	編	写(同)	一冊	堀・二六
	同	細井先生講席の余話他	同	編	写(同)	一冊	堀・二三
	同	(抄出)	同	編	写(同)	一冊	堀・二三
	同	(抄出合類)	同	編	写(同)	一冊	堀・二〇
	同	(見聞雜著)	同	編	写(同)	一冊	堀・二七
	同	友部氏学談聞書・兵家茶話抄出・觀相聞書	同	編	写(同)	一冊	堀・二三
	同	本居大人若山紀他	同	編	寛政年間写(同)	一冊	堀・二七
	合類	知之隨筆	同	編	写(同)	一冊	堀・二〇三
	隨筆	合類	同	編	写(同)	一冊	堀・八〇三
	雜語	筆記	同	編	明和九年写(同)	一冊	堀・七六〇
	視聽	隨筆(上都雜記)	同	編	寛政五年写(同)	一冊	堀・一三六
	視聽	雜記	同	編	写(同)	一冊	堀・四〇四
	塩尻	(抄出) 三十四他	天野信景	写(堀田知之筆)		一冊	堀・七三
	牛馬問抄出		新井白蛾	写(同・宝曆六年刊本)		一冊	堀・七九三

多 氣 窓 螢	北畠材親	宝曆八年写 (知之筆)	一冊	堀・七三
天 狗 儒 評 記		明和二年写 (同)	一冊	堀・七二
無夜食談・うその皮袋拔書		明和三年写 (同)	一冊	堀・七二
奇 談 雜 著		安永七年写 (同)	一冊	堀・七三
は な 木 の 花	細井徳民	天明八年写 (同)	一冊	堀・七九
講席余話 并抄出	寛政四・五年	写 (同)	一冊	堀・七三
風 流 俗 説 弁		写 (同)	一冊	堀・七六
〔鼈 外 雜 聞 書〕		写 (同)	一冊	堀・七九
〔雜 録〕		写	一冊	堀・七三
補 略 (元文五年) 他		写	一冊	堀・三六

二 哲学・宗教

1 総記

三 乃 逕

写 (宝暦四年序)

一冊

堀・四六三

2 神学・神道

神社・神事

神代卷秘幽

寛延二年写 (堀田知之筆)

一冊

堀・四四七

神代卷秘訣・秘訣法式大略 寛延・宝暦年間

写

一冊

堀・四三〇

日本書紀神代卷古義本文上

延享四年写

一冊

堀・四六六

同 下

寛延三年写

一冊

堀・四八

日本書紀神代卷古義一書

同 (堀田知之筆)

二卷

二冊

堀・四九七

神代卷一書聞書

延享四年写 (同)

一冊

堀・四二一

同

同 (同)

一冊

堀・四五

日本書紀神代卷復講聞書	寬延—宝曆年間	写(同)	一冊	堀・四七
日本書紀神代卷聞書	堀田之邑講	延享五年写(同)	三冊	堀・四六
神代上卷聞書略	寬政三年	写(同)	一冊	堀・四九
〔神代紀聞書・伊勢神宮記〕		写(同)	合二冊	堀・四六
神代記下卷開講	寬保二年	写(同)	一冊	堀・四五
先代旧事本紀偽書考評說		写(同)	一冊	堀・四六
神代系紀・神社奧秘伝		寬政八年写(同)	合一冊	堀・四五
神武紀〔聞書〕		写(同)	一冊	堀・四三
神武紀聞書	延享五年	寬延元年写(同)	一冊	堀・四三
神武紀聞書并余話・廿二社聞書	寬政四年	写(同)	一冊	堀・四九
神別本紀		宝曆二年写(同)	一冊	堀・四四
三種神器集説		寬保元年写(同)	一冊	堀・四五
倭姫命世記		寬延二年写(同)	一冊	堀・四五

倭姬命世記聞書	堀田之邑講	同	(同)	二冊	堀・四六
神学大義	寛保二年写(同・寛保元年刊本)	一冊	堀・四四		
神学存疑録	多田利見 延享四年写(同・元文三年刊本)	三卷 一冊	堀・四五		
神道平談	卷一 安政四年序刊	一冊	堀・四六		
神拝之祝詞	写(知之筆)	一軸	堀・三三		
大日尊神中臣稜天津祝太祝詞聞文ノ伝	天保九年写	一軸	堀・四七		
大稜詞後釈	本居宣長 寛政八年刊(鈴乃屋藏板)	二卷 二冊	堀・四三		
創禊弁	多田義俊述 寛保二年写(知之筆)	一冊	堀・三七		
神明憑談	同述・植松次親記	同	(同)	一冊	堀・四三
宝永十条・旬一百問答	同	(同)	合一冊	堀・四六	
晴雲伝	寛保三年写(同)	一冊	堀・四六		
天地人総系図	同	(同)	一冊	堀・四〇	
玉籤集	六一八 八塩道翁授・玉木正英記 延享四年写(宇都宮尚綱筆)	一冊	堀・四九		

- 自從抄講義 寬延元年写(同) 一冊 堀・四三
- 自從抄玉木氏講習 寬延二年写(同) 一冊 堀・四五
- 神事故実 多田義寬授・宇都宮尚綱記 寬延四年写(知之筆) 一冊 堀・四〇
- 秘訣法式大略(神道秘訣) 寬延四年 堀田之邑口授 写(同) 一冊 堀・四三
- 同 (草稿) 同 写(同) 一冊 堀・四九
- 足土根記・礮馭盧島記・たむけの説・羽倉草・賀茂注進雜記抄出 寶曆二年写(同) 合一冊 堀・四六
- 寶曆三年写(同) 一冊 堀・四五
- 聲母伝 天明四年写(同) 各二卷 合一冊 堀・四六
- 遊和草・続遊和草 多田義俊 天政二年写(同) 一冊 堀・四三
- 堀尾春芳老翁講筵余話 寬政二年写(同) 一冊 堀・四三
- 講義余話合類 吉川家譜略他 寬政三年写(同) 一冊 堀・四六
- 竹口先生講義聞書 寬政八年 写(同) 一冊 堀・四二
- 神道喪祭(喪祭触穢) 寬政七年写(同) 一冊 堀・四三
- 神家常談聞書 寬保二年 宇都宮尚綱講 写(同) 一冊 堀・四七

和学弁抄出僻考	堀田知之	写(自筆)	一冊	堀・三三
くづばな	本居宣長	写	二冊	堀・七二
くすはな・まかのひれ知之論弁	堀田知之	写(自筆)	合一冊	堀・八〇六
〔神武ヨリ東へ西国ノ名…〕		写(知之筆)	一冊	堀・四二〇
○				
造伊勢 二所 宝基本紀		寛延二年写(知之筆)	一冊	堀・四六
伊勢 二所 御鎮座次第記		同 (同)	一冊	堀・四三
同 御鎮座次第記聞書		写(同)	一冊	堀・四九
同 御鎮座次第記 <small>延賢鈔</small>		寛延四年・宝暦二年写(同)	一冊	堀・四四
同 御鎮座伝記		寛延二年写(同)	一冊	堀・四二
伊勢神宮御鎮座伝記聞書	寛延二年	写(同)	一冊	堀・四三
内宮正遷宮行事記・内外宮御神財目錄		寛延二年写(同)	合一冊	堀・四三
豊受皇 太神 御鎮座本紀〔聞書〕		同 (同)	一冊	堀・四六

豊受皇 太神	御鎮座本紀聞書	寛延三年	写(同)	一冊	堀・四四五
伊勢外宮儀式帳		寛延三年写(同)		一冊	堀・四五六
皇太神宮儀式		寛政二年写		一冊	堀・四七三
貞和御饗記		寛延二年写(知之筆)		一冊	堀・四三四
豊受皇 太神宮	正中御饗記	寛延三年写(同)		一冊	堀・四四一
神宮師檀弁・参宮問答・天武紀聞書并夜話隨筆・鎌足伝・大原山清学話・八雲神詠伝并書草稿		寛保二・三年写(同)		合一冊	堀・四三六
太神宮服忌令		写		一冊	堀・四六六
詣客問答并附録・御当社御鎮座略記		堀田知之 寛政七年写(自筆)		合一冊	堀・四四五
津島渡六月大祭之事		同 写(同)		一冊	堀・八一九
津島踊記		真野時繩著・堀田知之補記 写(知之筆)		一冊	堀・七五九
津島天王年中行事		元文二年写本復写(電子コピー)		一冊	堀・四七四
津島祭記		正徳二年刊本復写(同)		一冊	堀・八四一

津島神官堀田番頭大夫歴代略

宝曆六年写本復写(同)

一冊 堀・八三六

3 仏教

略法華経

刊〔江戸〕

一冊 堀・四四四

御法語撮要諺談

天明四年写(堀田知之筆)

一冊 堀・四〇六

傘松道詠

寛政元年写(同)

一冊 堀・二六九

心経略註

雲臥

同(同)

「傘松道詠」に合綴
堀・二六九

普化宗門寺院録

写(同)

一冊 堀・四〇九

釜之地蔵靈験記

寛政四年刊

一冊 堀・八三九・一

妙興寺宝物帳記録

刊〔江戸〕

一冊 堀・八三五

○

4 儒教

大学章句授蒙資講	五	元禄五年刊	二册	堀・八七
大学章句序抄		江戸中期写(堀田之仲筆)	一册	堀・二〇一
孟子	子	卷二・三	宋・朱熹注	林道春点
論語并孟子講義聞書		寛延元・二年写(知之筆)	一册	堀・七二
文公家礼		江戸中期写(貞享三年河合子善跋)	一册	堀・七三
仁說		元文三年写	一册	堀・七三
敬齋箴		江戸中期写(之仲筆)	一册	堀・二〇八
夜寐箴		同	一册	堀・二〇九
素書		写(知之筆)	一册	堀・七六

三 教育・教訓

庭訓往来	文明一七年写（飯尾〔三善〕之連筆）	一冊	堀・二〇〇三
東照宮御遺訓	元文三年写（堀田知之筆）	一冊	堀・七〇五
柳營夜話	写（寛延二年渋谷隠岐守筆記）	一冊	堀・七九六
君臣歌	宝曆一四年写（知之筆）	一冊	堀・六六一
人道職分記	天明二年写（同）	一冊	堀・七〇三
新板今川・腰越	刊（江戸）	一冊	堀・八〇三・三
女今川	安永七年刊	一冊	堀・八〇三・四
身代柱立	天明七年写（知之筆）	一冊	堀・七九

○

四 歴史・伝記 文書・記録

日本外史	頼山陽	明治一四四年刊(再版)二二卷(有欠)	九冊	堀・八一
浪合記		天明八年写(堀田知之筆)	一冊	堀・八五・二
駿話本別集		明和七年写(万月堂主人筆)	三冊	堀・七〇
易水連袂録	元禄十六年	江戸中期写(堀田之仲筆)	一〇卷 三冊	堀・一〇〇
赤穂義士銘々伝		明治二四年年刊	一冊	堀・八三
小野寺氏故郷江之文通写		宝曆一〇年写(知之筆)	一冊	堀・七七
伊達秘録		写(江戸)	一冊	堀・七三
明君享保録		天明八年写(知之筆)	一冊	堀・七六
張城人物誌	釈梵韶	安永八年写(同)	一冊	堀・七六
尾張国人物志略		安永二年写(同)	一冊	堀・七七

紀氏系図・堀田家系

鬼頭氏系図譜

津島四家七氏略伝

堀田知之

明和七年写(同)・寛政九年補写

合一冊

堀・八三

宝曆一〇年写(同)

一冊

堀・七五

明和九・寛政四年写(自筆)

一冊

堀・八四

○

近年御成之記

写(知之筆)

五卷 二冊

堀・八〇五

鷄林来聘記

写(江戸)

七卷(卷一・二欠) 二冊

堀・七四

信州諏訪家騒動御仕置書留

天明四年写(知之筆)

一冊

堀・七四

諸大名屋敷坪附

写(同)

一冊

堀・七九

御所司代迎記録

応永―安政

写(江戸)

一冊

堀・八三

千秋万々歳

元文二年写

一綴

堀・七五

戊寅冬雜記

宝曆八年写(知之筆)

一冊

堀・七七

巖密頃日噂

明和六年写(同)

八卷

一冊

堀・七六

洛陽大火行

(堀田知之)

写

一冊

堀・八三

諸事覚牒

元禄八―文政五年

堀田開田大夫 復写（電子コピー）

一冊 堀・八三

人馬駄賃帳

碓氷関所

文政一〇年写（原本）

一冊 堀・八六

袖中日記

明治二年

写（堀田松雲筆）

一冊 堀・八四

○

寺社奉行所通達文書綴

天明八―明治四年

写

五冊 堀・二〇七

五 地誌・紀行

大和めぐりの記

具原益軒

刊（元禄九年奥書）

一冊 堀・八七

神都名勝誌

明治二八年刊（神宮司庁藏板）六卷

七冊 堀・四七三

同

同

（同）

六卷（卷一欠）五冊 堀・四六五

日光道乃記

写

一冊 堀・五五

六言語

詞 玉 橋

富樫広蔭

写

三卷

三冊

堀・八六

辞 玉 櫛

同

文政一二年刊

一折

堀・二〇二五

本語和訓之別

堀田知之

写(自筆)

一冊

堀・八三〇

韻鏡反切聞書

写(知之筆)

一冊

堀・七九四

七文学

1 物語・小説

雲 が く れ

宝曆八年写 (知之筆)

一冊 堀・七〇

源 語 秘 訣

一条兼良

元文四年写 (同)

一冊 堀・七五

紫 家 七 論

安藤為章

同 三年写 (同)

一冊 堀・三三

手 ま く ら

本居宣長

天明五年写 (同)

一冊 堀・三三

園梅かしくの枝状 後編

京山作・豊国画

刊

一冊 堀・八〇・二

願 糸 竹 下編

馬琴作・国貞画

刊

一冊 堀・八〇・一

〔山莊大夫五人娘〕

江戸中期写 (堀田之仲筆)

一冊 堀・一〇三

ふ じ の 窟

天明八年写 (知之筆)

一冊 堀・七六

2 文集

扶桑拾葉集

徳川光圀編

江戸中期写

三〇卷・序系図等一卷

三四冊

堀・三九

3 随筆

(和歌・俳諧)

四季物語語

鴨長明

宝曆九年写(堀田知之筆)

一冊

堀・七〇一

新板
絵入
つれづれ草

卜部兼好

江戸中期刊

一冊

堀・八四〇・三

古家倭語(小革篋)

横井也有

明和二年写(知之筆)

一冊

堀・七七三

阿止里農須佐備

积慈延

写(自筆)

一冊

堀・三九五

知之随筆

堀田知之編

写(自筆)

一冊

堀・一〇一

同
天明七―寛政元年

同編

写(同)

一冊

堀・五〇八

同

同編

写(同)

一冊

堀・五〇九

同
(和歌)

同編

写(同)

一冊

堀・二四

同	(同)	同	編	写(同)	一冊	堀・三五
同	(和歌雜記)	同	編	写(同)	一冊	堀・二八
同	(和歌合類)	同	編	写(同)	一冊	堀・二五
同	(同)	同	編	宝曆年間写(同)	二冊	堀・二〇 堀・二〇
同	(同)	同	編	寛政四・五年写(同)	一冊	堀・二九
和歌隨筆		同	編	写(同)	一冊	堀・二四
同		同	編	写(同)	一冊	堀・二六
知之隨筆(和歌俳諧合類)		天明七・八年	同編	写(同)	一冊	堀・二八
同	(俳諧合類)	同	編	写(同)	一冊	堀・五一
同	(同)	俳諧雪まろけ・俳諧調子竹等	同編	宝曆年間写(同)	一冊	堀・五五
同	(俳諧雜著・紀行合類)	同	編	写(同)	一冊	堀・五三
同	(点取俳諧)	同	編	写(同)	一冊	堀・五七
同	(俳諧・漢詩)	同	編	寛政元年写(同)	一冊	堀・五六

俳諧	知之隨筆	同	編	写(同)	一冊	堀・五〇四
俳事	隨筆	同	編	写(同)	一冊	堀・五〇三
はいかい	隨筆	天明年間	編	写(同)	一冊	堀・五〇〇
俳諧諸事	合類	同	編	写(同)	一冊	堀・五九六

4 紀行・日記 (和歌・俳諧)

紀行	合類	宝曆三年写	(知之筆)	一冊	堀・二三四
----	----	-------	-------	----	-------

須磨之日記 土佐日記

難波御覽記 清見寺之記

濃路紀行 東国紀行

長明	海道記	写(江戸)	一冊	堀・七三七
----	-----	-------	----	-------

吉野参詣記・花本御会和歌	飛鳥井雅章	宝曆年間写	(知之筆)	合一冊	堀・二七六
--------------	-------	-------	-------	-----	-------

鈴屋 都 日記

石塚龍麿編

文政二年刊

二卷

二冊

堀・三六

〔三河紀行・難波紀行和歌〕

享保一一年写

一通

堀・一三六

湯沢紀行・春の家つと・塔沢紀行

元文四年写

合一冊

堀・一三三

磯 馴 衣

宝曆五年

水室亮長

写(知之筆)

一冊

堀・七六九

打出 浜 紀

延享三年

明和二年写(同)

一冊

堀・八〇四

○

〔伊勢路の旅〕

堀田知之

宝曆五年写(自筆)「知之隨筆」(一一二)草稿一冊

堀・一三五

袂 の 塵

同

寛延三年写(同)

「禁の家つと」草稿

一冊

堀・二六九

禁 の 家 つ と

同

同 (同)

一冊

堀・二九

野路のすきみ

同

明和元年写(同)

一冊

堀・一三三

浜 荻 日 記

明和四年

同

写(同)

「愚詠雜著」に合綴

一冊

堀・三〇六

梅雨の筆すきみ

同

明和六年写(同)

一冊

堀・三九

遅 さ く ら

同

安永七年写(同)

一冊

堀・二五九

羈 中日記

同

寛政四年写(同)

一冊

堀・一三〇

丙辰紀行(京澄月訪問吟行)

(師澄月訪問吟行)

同

寛政八年写(同)

一冊

堀・三三〇

芳野吟行

同

安永三年写(同)

「やまわけ衣」草稿

一冊

堀・二六三

やまわけ衣

同

同(同)

一冊

堀・二六二

吉野紀行

同

同(同)

一冊

堀・五三

袖の追風

堀田憲之

江戸末期写(自筆)

一冊

堀・二〇七

5 和歌

(1) 歌学・作法

国歌八論并評

荷田在満

寛政七年写(知之筆)

一冊

堀・三五

はし書ふり

建部綾足

同(同)

「国歌八論并評」に合綴

堀・三五

勅撰和歌集序類				江戸中期写 (堀田之仲筆)	一冊	堀・二〇四
古今集秘伝				元禄四年写 (同)	一冊	堀・二〇三
古今和歌集灌頂口伝				写 (元文四年校合)	一冊	堀・三〇六
万葉新採百首		賀茂真淵		寛政七年写 (知之筆)	一冊	堀・三〇五
美濃の家つと	(新古今集・恋)	本居宣長		写 (同)	一冊	堀・三〇一
みのの家つと	(新古今集・賀他)			写 (同)	一冊	堀・三〇七
万葉集秘抄				寛政三年写 (同)	一冊	堀・二七七
金玉抄秘				元文四年写 (同)	一冊	堀・二九七
西行上人旧跡記				明和八年写 (同)	一冊	堀・七六
詠歌大	概	東本願寺本	藤原定家	江戸初期写 (伝・青蓮院尊純法親王筆)	一冊	堀・二〇二
詠歌大概鈔				享保一九年写 (知之筆)	一冊	堀・三三
詠歌大概藻塩草				宝暦一三年写 (同)	一冊	堀・三六
詠歌大概・未来記・雨中吟鈔集				享保二二年写 (紀楚房筆)	合一冊	堀・三〇〇

同	・同	・同	寛保二年写 (知之筆)	合一冊	堀・三三
詠歌大概・秀歌体大略・新百人一首			写 (江戸)	合一冊	堀・二九三
百人一首鈔			享保二一年写 (知之筆)	二卷	堀・三〇一
百人一首古説		賀茂真淵著 荷田在満校	安永五年写 (同)	五卷	堀・三〇〇
口伝抄		藤原為家	写	一冊	堀・二五
和歌聞書			寛延二年写 (知之筆)	一冊	堀・三〇
自讃歌註		积宗祇	享保二〇年写 (知之筆)	一冊	堀・三三
為世卿和歌秘事記			寛延四年写 (同)	一冊	堀・二七一
冷泉為村卿和歌物語			安永一〇年写 (同)	一冊	堀・二〇七
兼好僧都略遺伝			宝曆九年写 (同)	一冊	堀・二四
井蛙抄		积頓阿	江戸中期刊 (絵入)	一冊	堀・二九
正徹物語			元文三年写 (知之筆)	一冊	堀・二二七
十市遠忠筆之写			安永二年写 (同)	一冊	堀・二四

釣 船

写(承応二年奥書)

一冊 堀・三〇

和歌口決十体等秘抄・六家集抄出・続無名抄拔書・謔林尾花末抄出・六韻一叶

寛延三・宝曆二年写(知之筆)

合一冊 堀・三三

○

色紙書様の事

享保二〇年写(知之筆)

一冊 堀・三六

和歌極秘伝抄

元文三年写(同)

一冊 堀・三七

和歌四式

寛延四年写(同)

一冊 堀・三五

正親町公通公口授之弁書

宝曆三年写(同)

一冊 堀・三四

路行記

同(同)

一冊 堀・三三

和歌三十体

宝曆一〇年写(同)

一冊 堀・三六

月峰抄

明和四年写(同)

八冊 堀・三六

和歌口伝

安永年間写(同)

一冊 堀・二六一

色紙認方

天明四年写(同)

一冊 堀・三六

節会文字鎖略解

寛政元年写 (同)

「新猿樂記」に合綴 堀・七五

和歌合類

寛政三年写 (同)

一冊 堀・二三

清涼殿色紙形御和歌・還幸拝見の紀・柴の戸の吟

増補和歌作法

同 七年写 (同)

一冊 堀・三四

○

和歌虚実之事

川合一叢 元文四年写 (自筆)

一軸 堀・三七三

手丹遠葉切紙二重口伝

同 寛延四年写

一帖 堀・三七九

川合翁八十八歳染筆懐紙之写

宝曆一〇年写 (知之筆)

合一冊 堀・二六三

附・川合翁尚綱師對話読方之口伝并文通

川合一叢翁和歌口伝聞書

宝曆一〇年写 (知之筆)

一冊 堀・二六六

愚問賢註藻塩草

川合一叢 同 一二年写 (同)

一冊 堀・三三八

先師川合翁師伝口訣書留

明和二年写 (同)

一冊 堀・二二〇

川合先師和歌文通他

安永年間写 (同)

一冊 堀・二九九

安永二年風真軒月次兼題

写

一通 堀・二〇三

和歌之談並二奉納和歌

風真軒澄月

安永三年写(知之筆)

一冊 堀・三三四

二条家正統点伝授書目

知之宛

同

同 四年写(自筆)

一軸 堀・二〇九

和歌点伝授秘書

同

同

同 (知之筆)

四冊 堀・三七二

詠歌大本三義大事・詠歌大本十一箇大事・詠歌大本階梯之卷・春樹顯秘増抄

二条家伝来之秘訣

安永七年写(同)

一冊 堀・二五

澄月詩歌入り文

知之宛

風真軒澄月

写(自筆)

一軸 堀・二〇二

長谷川有則・木村信民口上 (澄月年賀勸進并出題)

(寛政四年)写

一通 堀・二〇八・二五

続 耳底記略

細川行孝問
烏丸資慶答

寛政四年写(知之筆)

一冊 堀・三三

宗匠家談話 (和歌)

寛政八年写(同)

一冊 堀・三三五

養老滝乃弁

香川景樹

写(赤尾可官筆)

一冊 堀・三六九

草庵集諺解難注是非僻案

堀田知之

明和九年写(自筆)

一冊 堀・二五四

視聽筆記

同

安永七年写(同)

一冊 堀・二四三

もろかつら

同

寛政五年写(同)

一冊 堀・三五

和歌文通等留書

同 編

写(同)

一冊 堀・三五

かな遣并外題ノ寸法・らりるれろへノ歌・長雄師
一證師添削脇書之留

同

写(同)

一冊 堀・三五

北野聖廟奉納五十首題

写

一通 堀・三七一

天保三年月次兼題

桑名社中

刊

一枚 堀・三五・四

天保三辰歲月並兼題

写

一通 堀・三五・五

(2) 歌集

古今和歌集

紀貫之等奉勅撰

文化九年刊

二〇卷

二冊 堀・五六

新古今和歌集 雜歌

(入道前関白太政大臣家百首歌)

寛政五年写(堀田知之筆)

一冊 堀・三七

- 続後拾遺和歌集 江戸末期写（堀田憲之筆） 二〇卷 二冊 堀・二〇三
 新千載和歌集 同（同） 二〇卷（卷二十欠） 二冊 堀・二〇三
 〇
 心花集・清渚集 享保三年写 合一冊 堀・三六五
 式子内親王御集 天明七年写（知之筆） 一冊 堀・三五
 鳴の羽かき抜抄 元文五年写（同） 一冊 堀・二四五
 三体和歌・八代集秀逸和歌・九品和歌・十体和歌・俊成卿九十賀和歌
 広田社歌合 承安二年 元文二年写（同） 一冊 堀・二六五
 六家集（拾遺愚草員外雑歌） 藤原定家 写 一冊 堀・三四
 藤川百首 同 宝曆二年写（知之筆） 一冊 堀・三六
 藤川百首合類 写（同） 一冊 堀・二九一
 名所和歌三百首 順徳院・藤原定家・同 家隆 写 一冊 堀・三六
 名所和歌集（名所百首和歌聞書） 承応二年写 一冊 堀・三五

名所百首和歌	明和五年写(知之筆)	一冊	堀・二六七
順徳院御製百首・土御門院御製百首	宝曆一四年写(同)	合一冊	堀・二六六
歌合遠島	元文二年写(同)	一冊	堀・二六五
嘉禎二年			
俊成卿女家集・二条院讚岐家集	享保一九年写(同)	合一冊	堀・二六九
金槐集	寛政六年写(同)	一冊	堀・二六一
源実朝			
年中行事歌合(貞治関白家五十番歌合)	同五年写(同)	一冊	堀・二六九
兼好法師家集	享保一九年写	一冊	堀・二六九
卜部兼好			
重槐集	寛政六年写(知之筆)	二冊	堀・二六四 二六五
藤原雅親			
為尹千首和歌	写(永享五年奥書)	一冊	堀・二六四
藤原為尹			
今花集	元文六年写(知之筆)	一冊	堀・二五三
諸虫十五番歌合	宝曆一三年写(同)	一冊	堀・二七三
後水尾院御製拔書	明和五年写(同)	一冊	堀・二五四
後水尾院御添削和歌	元文六年写(同)	一冊	堀・二五七

黄葉集	鳥丸光広	寛政七年写(同)	二冊	堀・二六六 二六七
西三条家会始・烏丸家会始・拾玉集・白河尚齒会和歌・詠百首和歌		元文五・宝曆二年写(同)	合一冊	堀・三三五
芳雲和歌集類題	武者小路実蔭	天明七年刊(武者小路家藏板)	一冊	堀・三三三
芳雲類題拔書	同	安永七年写(知之筆)	一冊	堀・三三〇
通茂公十二ヶ月歌物		写	一軸	堀・三二〇
草庵和歌集類題(恋部)		写	一冊	堀・三六三
仙洞元禄 ^{十二年} 和歌御会始 ^{十四年}		正徳三年写	一冊	堀・三五八
太神宮御法楽千首和歌	元禄十四年	(享保二年)写	一冊	堀・三六三
院御所御著到	享保六年	寛政三年写(知之筆)	一冊	堀・三三〇
位記口宣・柏木百首・道御伝受竟宴晴御会		写	合一冊	堀・三三三
浜千鳥		享保二〇年写(知之筆)	一冊	堀・二六〇
異邦生誕乃賀・源(竹腰)正武朝臣七十賀和歌		同(同)	合一冊	堀・三三三

公宴和歌御会始	享保三・四・六・九・十二・十九・二十一・元文五年	元文五年写(同)	二册	堀・三三三
同	宝曆十一—明和五年	明和五年写(同)	一册	堀・三三
和哥留書	享保六・元文三・四年	写	一册	堀・三三四
〔絵入百人一首〕		元文二年刊	一册	堀・八四〇・一
定家卿五百回忌詩歌	元文五年	元文六年写(知之筆)	一册	堀・二七九
名所百首	(寛保二年禁裏月次御会)	宝曆一〇年写(同)	一册	堀・二七八
(尾張海)那濃利蘇和歌集	佐分清円	延享三年写(同)	一册	堀・二五二
白すな集		同五年写(同)	一册	堀・二〇三
競玉集		宝曆九年写(同)	一册	堀・三三七
明石奉納百首和歌		同一〇年写(同)	一册	堀・二七五
桃園院諒闇御役懸り為村卿御追悼和歌		同一三年写(同)	一册	堀・三三二
梶の葉		安永四年写	一册	堀・二四〇
蔵山集	滝口美領編	同刊(逢原堂・映江堂蔵板)	一册	堀・三六七

難藏山集	同	五年写(知之筆)	一冊	堀・三五
蘿窓集	同	(同)	一冊	堀・二四九
歌合難波	同	六年写(同)	一冊	堀・三四三
大嘗会御和歌(天明七年)・柳宮御連歌(天明八年)	同	六年写(同)	合一冊	堀・二六
和歌雜著	同	写(同)	一冊	堀・三九
冷泉家御点到百首	同	寛政三年写(同)	一冊	堀・二九
冷泉家御点和歌	同	写	一冊	堀・三七〇
清洲早川氏来儀之席吟	同	寛政六年写(知之筆)	一冊	堀・二九五
本居宣長十二景和歌并四条宿兼題	同	江戸末期写(堀田憲之筆)	一冊	堀・二三六
景樹先生歌	同	写	一冊	堀・三七〇
桂園一枝	同	嘉永四年刊	一冊	堀・三七四
蓬萊百人一首姫鏡	同	五年刊(三版)	一冊	堀・八〇〇
猷詠集(津島神社)	同	第九輯	一冊	堀・七二

〔北野奉納百首〕に合綴



熱田奉納七首和歌 川合一叢 写(知之筆) 一通 堀・三六四

老乃百首 同 宝曆八年写(同) 一冊 堀・二九二

許奴美 寄燈述懷 (一叢翁自詠和歌集) 宝曆一二年写(同) 一冊 堀・二五〇

〔川合一叢先師等詠草〕 写 二通 堀・三五・一〇二

〔川合一叢翁辞世和歌〕〔知之苑〕 川合一叢 宝曆一二年写(自筆) 一通 堀・二〇二

一叢師追善和歌 宝曆十一年 堀田知之編 宝曆一二年写(自筆) 一冊 堀・三四七

一叢師追悼和歌 同 (知之筆) 一冊 堀・三三七

和歌短冊「寄天恋」 宇都宮尚綱 写(自筆) 一枚 堀・二〇三六・一

〔澄月詠草〕 風真軒澄月 写(自筆) 六通 堀・二〇〇六・一七二
一七七

和歌短冊「寄鳥恋」 同 写(同) 一枚 堀・二〇三六・二

同 「寄糸恋」 同 写(同) 一枚 堀・二〇三六・三

天巖大和尚八十賀詠百首和歌 同 写(同) 一通 堀・二〇〇六・二六四

- 仙石治部延之一周忌 同 写(同) 一通 堀・二〇六・一六
- 不識菴東往和尚追福詠七首和歌 同 写(同) 一通 堀・二〇六・一六七
- 安永二年三月七日風真軒澄月六十賀和歌 澄月等 写 一通 堀・二〇六・一六八
- 北野奉納百首 風真軒澄月 安永六年写(知之筆) 一冊 堀・三三
- 碧巖百則和歌 同 寛政三年写(同) 一冊 堀・二四三
- 垂雲軒(澄月)八十賀筵全集 澄月等 同 五年写(桃沢匡衛筆) 一冊 堀・二八
- 円翁道融居士(知之)中陰追慕詠十首和歌 澄月 同 九年写(自筆) 一軸 堀・二〇二
- 円翁道融居士(知之)中陰追慕詠十首・付蒿蹊和歌 写(憲之筆) 一軸 堀・二〇三
- 澄月法師千首 風真軒澄月 刊(文政五年序) 二冊 堀・三九
- 〔澄月・桃沢匡衛応答歌〕 〔天明八年〕写 一通 堀・二〇六・一七〇
- 〔桃沢匡衛詠草〕 桃沢匡衛 写(自筆) 三通 堀・二〇六・一七〇
- 〔桃沢夢沢詠草〕 桃沢夢宅 写(自筆) 一通 堀・二〇六・一七五
- 澄月五七日追善会和歌 香川景柄等 〔寛政一〇年〕写 一通 堀・二〇六・一七六

〔香川景柄詠草〕

香川景柄

写（自筆）

一通

堀・二〇六・一六

千首和歌拔書

〔有賀長伯等〕

写

一冊

堀・三二

之仲翁十五首和歌

堀田之仲詠
有賀長伯添削

江戸中期写（之仲筆）

一軸

堀・二〇六

之仲歌集

堀田知之編

享保二一年写（自筆）

一冊

堀・二九〇

津島渡集

享保十六—元文六年

写（同）

一冊

堀・二六四

続つしまの渡集

延享—宝暦年間

写（同）

一冊

堀・二〇四

和歌留書草

堀田知之

享保一七年写（同）

一冊

堀・三五五

試筆歳暮

享保十二年
元文四年
宝暦二年

同

写

一冊

堀・二五五

同

享保十八—元文二年

写（自筆）

一冊

堀・二六三

同

宝暦年間

同

写

一冊

堀・二二九

愚詠留書草

寛延三—宝暦十年

写（自筆）

一冊

堀・三〇四

天満宮奉納和歌

同

等
宝暦二年写（自筆）

一冊

堀・三〇五

尾はなが本	堀田知之	(同 五年)写(同)	一冊	堀・三五
追善和歌合類(知之隨筆)	宝曆六—安永十年	同編写(同)	一冊	堀・三〇八
〔宝曆歌会和歌集〕	同	編 宝曆九年写(同)	一冊	堀・三〇六
七とせ乃手向	同	編 同 一一年写(同)	一冊	堀・三〇〇
起ふしの伽	同	〔宝曆一三年)写(同)	一冊	堀・三三五
影 供 和 歌	宝曆十三年	同 写(同)	一冊	堀・三三三
和 歌 雜 記	宝曆十一—明和二年	同 (明和二年)写(同)	一冊	堀・二六八
愚 詠 雜 著	明和二—七年	同 写(同)	一冊	堀・三〇六
独吟名所百首	同	明和五年写(同)	一冊	堀・三三六
独吟名所和歌百首	同	同 (同)	一冊	堀・三三七
愚 詠 隨 筆	明和八—寛政五年	同 写(同)	一冊	堀・三〇三
澄先生(宗月)添削和歌留書	明和九—寛政九年	同編写(同)	七冊	堀・二〇八
知之六十の賀	同	編 〔安永八年)写(同)	一冊	堀・三〇六

	〔六十之賀(和歌入)〕	同		安永八年写(同)		一軸	堀・二〇三
	本 乃 霰	同		〔同〕写(同)		一冊	堀・三五五
	壬寅 和歌見聞筆記	同		天明二年写(同)		一冊	堀・二七四
	上都	同	編	同 八年写(同)		一冊	堀・二六〇
	古 希 乃 賀	同		写(同)		一軸	堀・二〇三
	七十之賀鶴伴仙齡	同		〔天明―寛政〕写(同)		一冊	堀・三七六
	天満宮影供廿五題	同		寛政元年写(同)		一冊	堀・二九六
	ひとひの物語	同	編	寛政三年写(同)		合一冊	堀・三三三
	藤川百首・廿五題百首	同		昭和五三年写(堀田英一郎筆)		一綴	堀・三六六
	津島八景序文和歌	同		写(自筆)	額装	一面	堀・二〇八
	〔知之翁津島八景和歌〕	同		寛政三年写(自筆)		合一冊	堀・三三三・一
	自詠合類・笹蟹の歌	同		写(同)		一冊	堀・三三三・二
	笹 蟹 の 歌	同		寛政三年写(同)		一鋪	堀・三七六

同 「遠浦春曙」 同 写(同) 一枚 堀・二〇六・一〇

同 「寄花懷旧」 同 写(同) 一枚 堀・二〇六・一一

同 「常磐なる…」 同 写(同) 一枚 堀・二〇六・一二

同 「望山待花」 同 写(同) 一枚 堀・二〇六・一三

同 「落葉かく…」 同(老隠子) 写(同) 一枚 堀・二〇六・一四

詠 草 秋二十首組題他 (同編) 写(自筆) 一冊 堀・二〇五

和歌 藤波集 (同編) 写(同) 一冊 堀・二〇九



〔詠題時鳥和歌会〕 堀田憲之等 天明年間写(知之筆) 一綴 堀・三七七

わかれ霜 知之追悼 堀田憲之 寛政九年写(自筆) 一冊 堀・二〇三

澄月上人三回忌追悼夏述懷 同 (寛政一二年)写(自筆) 一通 堀・二〇八・一七

芝山持豊卿添削憲之詠草 同 文化四年写(同) 一冊 堀・二〇〇

翠雲軒翁点憲之詠草 同 江戸末期写(同) 一冊 堀・二〇三

花野の旅	同	堀田芳之	〔文化六年〕写	一冊	堀・一〇三
憲之自詠歌集	同	堀田躬之	写	一冊	堀・一〇〇
憲之詠歌懷紙	同		写	一綴	堀・一〇三
七代目憲之翁詠歌	同		写	一綴	堀・一〇四
憲之・香長詠歌	同		写	一綴	堀・一〇四
○					
手向草	〔知之追悼〕	堀田芳之	〔文化六年〕写	一冊	堀・一〇一
〔文政十年九月七日〕		堀田躬之	写	一冊	堀・一〇六
〔之盈等詠草〕		之盈等	写	七通	堀・一〇六
四季二十首		隆久	写	一綴	堀・一〇七
隆久詠歌			写(自筆)	二通	堀・一〇一
〔八塩磨他七名詠歌〕			写	一綴・六通	堀・一〇三
〔八塩老父詠草〕			写	一通	堀・一〇七・四

〔綱根他詠歌〕

〔文政―天保年間〕写

一通 堀・三六三

〔稻臣詠草〕

写

一通 堀・三六五・三

〔風月詠草〕

写

一通 堀・二〇八・二六九

〔綱富詠草〕

写

一通 堀・三六七・三

6 俳諧

(1) 刊本

歌仙之俳諧

貞享四年

寛政八年〔知足齋伝芳〕

一冊 堀・六七二

〔白尼歳旦〕

宝曆二年

一冊 堀・六六〇

俳諧続朗詠集

夜話亭編

〔同 五年〕

二卷

二冊 堀・六五二

老の春月

同 九年序

一冊 堀・六六一

壬生山家集	宝曆九年跋	二冊	堀・六五
歳旦地	同一〇年	一冊	堀・六五
それならば	明和二年序跋	一冊	堀・六六
太郎集	暮雨巷曉台編 同三年自序	一冊	堀・六五
蟬時雨上	同元年序	一冊	堀・六四
秋の日	安永元年	一冊	堀・六三
去來抄	向井去來 同四年	三冊 三卷	堀・六九
歳旦	津島神島連中 同	一冊	堀・六七
橋梓塚	安永七年序跋	二冊	堀・六七
蓮の露	蓮阿坊白尼編 同自序	一冊	堀・六七
秋の旦	同編 〔同一〇年〕序	一冊	堀・六五
俳諧諸集訂誤	烏雀庵布磧校 天明三年	一冊	堀・六三
ふくさ貝	騏六 寛政四年	一冊	堀・六六

冬のひかり	九華亭真夏編	同	五年序跋(同三年堀田六林序)	一冊	堀・六五
青あらし		同	八年	一冊	堀・六五
三秋句合月	白尼撰		(江戸中期)	一冊	堀・六七〇
千代しるし		同		一冊	堀・六七二
後のかつら		同		一冊	堀・六五三
秋詠三幅対		同		一冊	堀・六六六
桑名霞岡判者披露一会			(江戸)	一枚	堀・六〇四

(2) 写本

宗祇 筑紫紀行	安永四年(堀田知之筆)	一冊	堀・五九〇
千句前集・はるの日・冬の日・芭蕉越人其角越人兩吟		合一冊	堀・五九五
蕉翁 過去種	一筆坊鷗沙 安永五年(自筆)	四卷 四冊	堀・五七六

俳諧の葉かぜ	見龍評							
諧								
俳諧古今抄趣意								
拾かたひら	横井也有	安永二年(同、享保一六年跋)	一冊	堀・五五				
野夫談	同	明和三年(同)	一冊	堀・五〇				
鏡裏梅	同	明和四年(同)	一冊	堀・五六				
同	追加	同	一冊	堀・五三				
岩根松・峨洋篇	同	明和四年(同)	合一冊	堀・五七				
蘿葉集	同	同	三冊	堀・五二				
非四論	同	天明六年(知之筆)	一冊	堀・五八				
角文	堀田六林	同	一冊	堀・五八				
附、自詠口号	堀田知之							
まにふんて	堀田六林	(同)	一冊	堀・五三				
抄出								
とはしくさ・こたま草	建部綾足・横井也有							

いはほくさ

礪波荒虫

明和八年(同、明和七・八年刊本)
明和九年(同、明和八年刊本)

合一冊
堀・五五
一冊
堀・五二

俳諧 口授相伝

(江戸中期)(元禄七年奥書)

一冊
堀・五七

南無俳諧・伊勢新百韻

延享四年(知之筆)

合一冊
堀・五五

八ゆふくれ他

同 (同)

合一冊
堀・五〇

俳和漢文藻
諧西花集抄出

延享五年(同)

合一冊
堀・五四

俳諧廿五ヶノ秘訣

延享五年(以文筆)

一冊
堀・五六

俳諧 筆陣

同 (知之筆)

一冊
堀・五六

百廿番句合

明和四年 暁台判

(同)

一冊
堀・五三

滑稽 合類

安永三年(同)

一冊
堀・五七

俳諧漢和手引・俳諧漢和灯下吟

同 (同)

合一冊
堀・五九

白の双紙・赤の双紙

同 (同)

一冊
堀・五五

妙興寺開帳筆記（吟行）

（同）（同）

一冊 堀・五二

俳事合類

安永八年（同）

一冊 堀・五三

毒語・滑稽花莊子・和漢牡丹合晧台門

立圃句集

天明五年（同）

一冊 堀・五九

席吟発句合天明五・六年

同 六年（同）

一冊 堀・七五

錦織記

類題発句集（知之筆、安永三年刊本）

（知之筆、安永三年刊本）

一冊 堀・五三

類題発句集（知之筆）

（知之筆）

四卷

四冊 堀・五三
五三
五四

天王橋由来

昭和五五年（堀田英一郎筆）

一冊 堀・五二

○

浦の筈屋晧台評

一冊 堀・五四

初ゆき同

一冊 堀・五七

〔木吾翁・晧台翁附け合句〕

一軸 堀・三三五

は	な	笠	長歌行	白尼評				一冊	堀・五九
桐	の	は	白尼評					一冊	堀・五三
花野	のに	しき	同	堀田知之等				一冊	堀・五八
興春	松	竹	梅	同	等			一冊	堀・五六
	〔知之翁連句会記〕			同	等			一軸	堀・六一
	〔木吾外四名連句〕		巴雀評	同	等			一通	堀・六三
	〔知之詠俳句卷〕			同				一通	堀・六三
	〔以文等連句会〕			同				一通	堀・六七
俳諧	友は	くれ	同	堀田知之等				一冊	堀・五五
香雨	評	俳事	合類	堀田知之・井上士朗等				一冊	堀・五一
はい	席吟	合類		堀田知之編				一冊	堀・五九
									〔寛延年間〕〔自筆〕
半元	服乃	賀	宝曆十一年	同	編			一冊	堀・五三
病後	の	贈答		同				一冊	堀・五三
									〔同〕
									宝曆十三年〔同〕

	〔祖翁芭蕉追憶記〕	同	〔同〕	〔同〕			
	芭蕉翁百年忌追悼之俳諧						寛政五年
	蘿の葉風	堀田知之	明和九年〔自筆〕				〔合類知之隨筆〕に合綴
	吟行合類	同編	〔安永二年〕〔同〕				
	追悼	其立・堀田知之他					
	俳句「菊の香に…」	堀田知之	〔自筆〕				
	〔伊勢えび画讃〕	同	〔同、補筆あり〕				
	俳句短冊「菊は花の…」	同	〔自筆〕			一枚	堀・二〇三六・一六
	同「明ぼのは…」	同	〔同〕			一枚	堀・二〇三六・一五
	同「寒声や…」	同	〔同〕			一軸	堀・二〇三六
	同「初鱒や…」	同	〔同〕			一軸	堀・二〇三四
	木吾交友俳人句集					一冊	堀・二〇〇〇

7 漢詩文

新猿樂記

藤原明衡

寛政元年写（知之筆）

一冊

堀・七五

本朝学原

松下見林

寛文一一年刊

一冊

堀・七七

詩法掌韻大成

卷五・六

元禄六年刊

一冊

堀・七六

円機活法詩学全書

卷一・二・五・六

刊

二冊

堀・七七

円機詩韻活法全書

卷三・四

刊

一冊

堀・七九

今上皇帝御製詩・烏丸平松兩卿御懷紙写・磯谷岡田豊山廿五景詩

写

合一冊

堀・三三

嵐山曙花御遊記・花山僧正九百年忌詩歌

寛政二年写（知之筆）

合一冊

堀・三六

八 芸 術

葉すゑの露	堀田知之編	宝暦五年写（自筆）（付・和歌・俳諧）	一冊	堀・三三
新 都 賦	同	享保一七年写（同）	一冊	堀・八三
碑 類		写（知之筆）	一冊	堀・七九
鶴台先生紀事		写	一冊	堀・七四
二十四章孝行録		写	一冊	堀・七〇
塩 松 八 景		写	一冊	堀・七三
詩 稿		安政六年写	一冊	堀・八六
○				
朝鮮信使詩賦筆談并書翰		享保四年	写	一冊
				堀・七〇

1 総記

万宝全書

宝暦五年刊

一三冊 堀・八〇

2 書・画

諸先生真跡 池凍帖・今川帖

刊（石版陰刻・永楽屋）

一冊 堀・八二

なにはつ

写

三冊 堀・七三

尺牘諺解

江戸中期写（堀田之伸筆）

一冊 堀・一〇七

〔硯箱の取扱並に書状礼式〕

堀田知之

写（自筆）

一冊 堀・八三

○

画本宝鑑 卷一・四

刊（貞享四年序）

二冊 堀・七二

竹 譜

竹洞梅逸遺印譜集

兼松龜吉郎

明治四三年刊

文化元年刊

一冊 堀・八三五

一冊 堀・七五五

3 音楽・歌謡

楽 譜 写 記

写

一冊 堀・八二五

箏 曲 鈔

享和三年写

一冊 堀・七五七

権之守流太鼓之秘書

写

一冊 堀・八六六

〔舞 楽 譜〕

写

一冊 堀・四七〇

梁 塵 愚 案 抄

○ 一条兼良

江戸中期写（之仲筆）

一冊 堀・二二五

白 赤 の 双 紙

写

一冊 堀・七六五

次信最期・勝浦合戦・維盛都落・火燵合戦

○

謡曲 百番 観世流

貞享二年刊

二〇冊

堀・八三

謡曲 同

貞享―宝永年間刊

三八冊

堀・八三

謡曲 内百番 同

宝永七年刊

二〇冊

堀・三〇五

同 外百番 同

天和三年刊

一七冊(一〇―一二欠)

堀・三〇六

4 茶湯・生花

利休百会茶会記(利休居士会席之覚)

天正十五年・六年 鴻池本

江戸初期写(逢源齋筆)

一冊

堀・三〇三

茶之湯式

宝曆一一年写

一冊

堀・八元

茶之湯覚書

写

一冊

堀・七五

茶之湯聞書（茶之湯覚書）

写（江戸中期）

一冊 堀・七六一

茶湯聞書 延享二年伝授始

写（知之筆）

一冊 堀・七四九

茶人大系譜

棲霞亭編

天保三年刊

一冊 堀・七四三

茶花押譜（茶家酔古集）

天保一四年刊

一冊 堀・七六五

茶道表千家 薄茶かがみ

谷口紹茶

大正一四年刊（活版）

一冊 堀・八〇九

ちから草

天明四年写

一冊 堀・七三九

5 遊 戯

蹴鞠伝書

写

一冊 堀・七四五

朧月抄

延享四年写

一冊 堀・七三三

蹴鞠指南大成

同（知之筆）

一二卷 一冊 堀・七三三

蹴鞠口伝聞書

写(同)

一冊 堀・七四

○

将棊啓蒙

写

一冊 堀・七三

九 政治・法制 有職故実

地教用節集

写

一冊 堀・七五

読温知政要編・越後国孝婦伝・洛書諺解

写(知之筆)

合一冊 堀・七六

御讓位和字記

元文二年写(同)

一冊 堀・七七

東百官付考

同 六年写(同)

一冊 堀・七五

公事合類

宝曆三年写(同)

一冊 堀・七六

野芹

細井平洲

天明三年写(同)

一冊 堀・七三

資 治 清 要

松平定信

寛政三年写 (同)

一冊

堀・七四八

御 役 人 付 早 見

文久三年刊

一冊

堀・三〇四

明 衡 消 息

写

二冊

堀・七五五

旧 礼 諸 式

元文二年写 (知之筆)

一冊

堀・七八

年 中 行 事 故 実 考

松平君山

江戸中期写

(絵入本)

「御日記所」
「弘」

印記

一二卷

二冊

堀・三〇二

〔諸礼躰方伝授書〕

題簽

「弓礼躰方小頭」
「弓法躰方大頭拔書」

寛保四—延享二年写 (知之筆)

四冊

堀・七九
七二

弓 礼 大 頭 拔 書 目 録

元文四年写 (堀田治之筆)

一冊

堀・七四

弓 礼 小 頭 聞 書

寛保二年写 (知之筆)

一冊

堀・七六

弓 礼 躰 方 小 頭 目 録

写 (同)

一冊

堀・八七

太 刀 折 紙 聞 書

写 (同)

一冊

堀・七七

太 刀 折 紙 目 録

寛保三年写

一冊

堀・七四

当流書礼集

寛保元年写（知之筆）

一冊 堀・七五

〔書礼之事〕

延享三年写（同）

一冊 堀・七八

婚礼之卷

元文二年写（同）

一冊 堀・七五

七五三祝儀神事飾付絵卷

写（正保四年奥書）

一軸 堀・三〇九

一〇 医学・理学

医方明鑑 卷四

江戸中期刊

一冊 堀・七八

脈

江戸中期写（堀田之仲筆）

一冊 堀・二〇五

灸穴正法

同（同）

一冊 堀・二〇四

○

大清特憲曆抄出

宝曆五年写（知之筆）

一冊 堀・七六

時辰儀刻割

元治元年刊

一枚 堀・三三六

国花集

刊

一冊 堀・七六九

牽牛花葉形花形色附記

明治一九年写

一冊 堀・七四一

一一 兵事・武具

軍林宝鑑

江戸中期写（堀田之仲筆）

一冊 堀・一〇〇三

本朝鍛冶考首卷一、九・十一・十二・十四、十七 刊（寛政八年序）

一〇冊 堀・三三三

慶長以来 新刀弁疑 嘉永四年刊（補刻）

九卷 九冊 堀・三三四

忍松明目録

写

一冊 堀・七三四

一一一 雜

付、書簡

前漢書評林抄出・和漢三才図会（卷七十七）

写

合一冊 堀・四七

朝鮮人難波の夢

安永四年写（知之筆）

一冊 堀・七三

当世鍼藝・売魚翁伝

天明三年写（同）

一冊 堀・七三

知多郡亀崎商品及船舶出入表

明治一四―一六年写

一冊 堀・八三

○

暁台宗匠従京都来状之写書留

写（知之筆）

「俳事隨筆」に合綴 堀・五三

伴 蒿 蹊 書 簡

堀田利右衛門宛

〔寛政四年〕五月四日

一通 堀・二〇八・二五

大愚 慈 延 書 簡

堀田理右衛門宛

〔寛政五年〕二月九日

一通 堀・二〇八・二五

桃沢匡衛（茂兵衛）書簡

七通

堀田利右衛門宛

十月廿五日

（一通）堀・二〇八・一四

同 理右衛門宛

〔寛政八年〕六月十一日

（一通）堀・二〇八・一四

桃沢啓山書簡
桃沢夢宅書簡

同

五月八日

(一通)

堀・三〇八・一四五

同 知之宛

〔寛政八年〕三月十八日

(一通)

堀・三〇八・一四三

同

十月廿五日

(一通)

堀・三〇八・一四二

同

七月廿一日

(一通)

堀・三〇八・一四四

同 豊藏宛

〔寛政八年〕三月十八日

(一通)

堀・三〇八・一四六

堀田理右衛門宛

〔寛政十年〕七月七日

一通

堀・三〇八・一四九

同

四通

〔寛政十一年〕正月十七日

(一通)

堀・三〇八・一五〇

〔同〕 四月五日

(一通)

堀・三〇八・一五一

〔同〕 十二年〕二月十五日

(一通)

堀・三〇八・一五二

〔同〕 閏四月十一日

(一通)

堀・三〇八・一五三

三通

堀・三〇八・一五四

香川景柄書簡

堀田木吾宛

十二月十三日

(一通)

堀・三〇八・一五五

澄月書簡

同 豊藏宛 四月十日

(一通) 堀・三〇八・二五

桃沢夢宅宛 三月晦日

(一通) 堀・三〇八・二五

一四一通

堀田理右衛門(知之)宛(明和九—寛政九年)

(六一通) 堀・三〇八・二六

同 年不明

(七九通) 堀・三〇八・二六

堀田憲之宛 (寛政十年) 三月九日

(一通) 堀・三〇八・二四

堀田理右衛門宛 十月廿五日

一軸 堀・三〇三

澄月書状

索

引



索引 五十音順

ア

青あらし……………三〇
 亞槐集……………三
 明石奉納百首和歌……………三
 赤の双紙……………三
 秋二十首組題……………四
 秋の旦……………四
 秋の日……………四
 明衡消息……………五
 赤穂義士銘々伝……………四
 牽牛花葉形花形色附記……………六
 熱田奉納七首和歌……………五
 阿止里農須佐備……………九
 袷かたびら……………一〇

イ

安永二年三月七日風真軒澄月六十
 賀和歌……………三
 安永二年風真軒月次兼題……………六
 異域同日譚……………一
 位記口宣……………三
 (伊勢えび画讃)……………五
 伊勢外宮儀式帳……………二
 (伊勢路の旅)……………三
 (伊勢神宮記)……………六
 伊勢神宮御鎮座伝記聞書……………九
 伊勢新百韻……………四
 伊勢二所御鎮座次第記……………九
 伊勢二所御鎮座次第記延賢延慶鈔……………九
 伊勢二所御鎮座次第記聞書……………九
 伊勢二所御鎮座伝記……………九
 (一叢翁自詠和歌集)……………五
 一叢師追善和歌……………五

ウ

一叢師追悼和歌……………五
 (稻臣詠草)……………三
 (以文等連句会)……………一〇
 異邦生誕乃賀……………三
 医法明鑑……………五
 (新板)今川・腰越……………三
 今川帖……………五
 (いろは文字由来記)……………四
 いはほくさ……………四
 岩根松……………一
 韻鏡反切聞書……………一
 院御所御著到……………三
 (茶道表千家)薄茶かがみ……………五
 うその皮ふくろ拔書……………四
 歌合遠島……………三
 歌合難波……………三
 打出浜紀……………三

雨中吟鈔集……………	二四・二五
浦の笠屋……………	四六
工	
詠歌大概……………	二四・二五
詠歌大概鈔……………	二四
詠歌大概藻塩草……………	二四
詠歌大本階梯之卷……………	二六
詠歌大本三義大事……………	二六
詠歌大本十一箇大事……………	二六
影供和歌……………	二六
詠草……………	二四
(詠題時鳥和歌会)……………	二四
詠百首和歌……………	三三
(絵入百人一首)……………	三三
易水運袂録……………	二四
越後国孝婦伝……………	二四
画本宝鑑……………	二五
円翁道融居士(知之)中陰追慕……………	二五

詠十首和歌……………	三六
円翁道融居士(知之)中陰追慕……………	三六
詠十首・付高蹊和歌……………	三六
円機活法詩学全書……………	三五
円機詩韻活法全書……………	三五
塩松八景……………	三五
才	
老の春……………	四三
老乃百首……………	三五
正親町公通公口授之弁書……………	二六
大祓詞後釈……………	二七
大原山清学話……………	二〇
起ふしの伽……………	二六
御所司代迎記録……………	二五
遅さくら……………	二三
礮馭盧島記……………	二八
小野寺氏故郷江之文通写……………	二四
尾はなが本……………	二六

朧月抄……………	二五
御役人付早見……………	二五
尾張国人物志略……………	二四
尾張海那濃利蘇和歌集……………	二三
女今川……………	二三
力	
(怪談全書)……………	二
(香川景柄詠草)……………	二七
香川景柄書簡……………	二六
鶴台先生紀事……………	二五
楽譜写記……………	二五
景樹先生歌……………	二四
(蕉翁句解)過去種……………	二五
花山僧正九百年忌詩歌……………	二五
梶の葉……………	二三
柏木百首……………	二三
火燧合戦……………	二五
歌仙之俳諧……………	二四

勝浦合戦……………	五	紀行合類……………	二	鏡裏梅……………	四
かな遣并外題ノ寸法……………	元	紀氏系図……………	二五	鏡裏梅追加……………	四
鎌足伝……………	二〇	北野聖廟奉納五十首題……………	元	玉籤集……………	七
釜之地蔵靈驗記……………	二一	北野奉納百首……………	六	清洲早川氏来儀之席吟……………	四
賀茂注進雜記抄出……………	八	奇談雜著……………	四	去来抄……………	四
峨洋篇……………	四	羈中日記……………	三	桐のは……………	四
烏丸家会始……………	三	鬼頭氏系図譜……………	二五	金槐集……………	三
烏丸・平松兩卿御懷紙写……………	五	(許奴美浜乃一集)寄燈述懷……………	五	今花集……………	三
謂林尾花末抄出……………	六	木村信民口上……………	六	金玉抄秘……………	四
(川合一叢翁辞世和歌)……………	五	灸穴正法……………	五	吟行合類……………	五
川合一叢翁和歌口伝聞書……………	七	牛馬問抄出……………	三	今上皇帝御製詩……………	五
(川合一叢先師等詠草)……………	五	弓法躰方大頭拔書……………	五	近年御成之記……………	五
川合翁八十八歳染筆懷紙之写……………	七	弓礼躰方小頭……………	五		
川合翁尚綱師對話読方之口伝并文通……………	七	弓礼躰方小頭目錄……………	五	ク	
川合先師和歌文通……………	七	弓礼大頭聞書……………	五	愚詠雜著……………	三
還幸拝見の紀……………	七	旧礼諸式……………	五	愚詠隨筆……………	三
観相聞書……………	三	競玉集……………	三	愚詠留書草……………	七
		橋梓塚……………	四	公事合類……………	七
キ		晚台宗匠從京都来状之写書留……………	六	くづばな……………	九
其角越人両吟……………	四				

くすはな・まかのひれ知之論弁	九
口伝抄	二五
九品和歌	三〇
雲がくれ	一八
愚問賢註藻塩草	二七
桑名霞岡判者披露一会	望
君臣歌	二三
軍林宝鑑	六〇

ケ

桂園一枝	二四
詣客問答并附録	二〇
敬齋箴	三
慶長以来新刀弁疑	六
鶏林来聘記	一五
月峰抄	二六
蹴鞠口伝聞書	五
蹴鞠指南大成	五
蹴鞠伝書	五

献詠集(津島神社)	二四
兼好僧都略遺伝	二五
兼好法師家集	三
源語秘訣	一八
蔽密頃日噂	一五

ク

公宴和歌御会始	三三
講義余話合類	八
壺簪亭詞	二
講席余話并抄出	四
皇太神宮儀式	二〇
香長詠歌	四
黄葉集	三
合類知之随筆	三
古家倭語(小革篋)	一九
古希乃賀	三
古今集秘伝	二四
古今和歌集	二

古今和歌集灌頂口伝	二四
国花集	六〇
国歌八論并評	三三
腰越	三
御讓位和字記	五
こたま草	四

(伊勢二所)御鎮座次第記	九
慶鈔	九
(伊勢二所)御鎮座次第記聞書	九
(伊勢二所)御鎮座伝記	九
(豊受皇太神)御鎮座本紀(聞書)	九
(豊受皇太神)御鎮座本紀聞書	二〇
滑稽合類	四七
滑稽花莊子	四
御当杜御鎮座略記	二〇
詞玉橋	一七
御法語撮要談	二
後水尾院御製拔書	三
後水尾院御添削和歌	三

維盛都落……………	五
權之守流太鼓之秘書……………	五
婚禮之卷……………	五

サ

(俳諧)西花集抄出……………	四
西行上人旧跡記……………	四
歳旦……………	四
笹蟹乃歌……………	三九・四〇
雑語筆記……………	三
(雑録)……………	四
参宮問答……………	二〇
三秋句合……………	四五
三種神器集説……………	六
傘松道詠……………	二
(山荘大夫五人娘)……………	一八
三体和歌……………	三

シ

自詠口号……………	四
自詠合類……………	三九
自詠百首……………	四〇
塩尻(抄出)……………	三
色紙書様の事……………	六
式子内親王御集……………	三
色紙認方……………	六
四季二十首……………	四
鳴の羽かき抜抄……………	三
四季物語……………	一九
紫家七論……………	一八
詩稿……………	五
自讃歌註……………	三五
資治清要……………	五
寺社奉行所通達文書綴……………	六
自從抄講義……………	八
自從抄玉木氏講習……………	八
時辰儀刻割……………	六
七五三祝儀神事飾付絵卷……………	五
七十之賀鶴伴仙齡……………	三九
視聽雜記……………	三

視聽隨筆(上都雜記)……………	三
視聽筆記……………	二六
十体和歌……………	三
忍松明目録……………	六
柴の戸の吟……………	七
芝山持豊卿添削憲之詠草……………	四
試筆歳暮……………	七
詩法掌韻大成……………	五
秋詠三幅対……………	五
秀歌体大略……………	五
拾玉集……………	三
袖中日記……………	六
旬一百問答……………	七
春樹頭秘増抄……………	六
俊成卿九十賀和歌……………	三
俊成卿女家集……………	三
順徳院御製百首……………	三
蕉翁句解過去種……………	五
将基啓蒙……………	五
將軍宣下之筆記……………	一
貞治関白家五十番歌合……………	三

上州百姓騒動	二
(春興)松竹梅	一〇
(豊受皇太神宮)正中御鋸記	二〇
正徹物語	二五
貞和御鋸記	二〇
諸事覚牒	二六
諸先生真跡	三三
諸大名屋敷坪附	三五
諸虫十五番歌合	三三
(諸礼躰方伝授書)	三九
(書礼之事)	三九
白河尚齒会和歌	三三
白すな集	三三
白赤の双紙	三六
白の双紙・赤の双紙	三七
神学存疑録	三七
神学大義	三七
心花集	三〇
心経略註	二一
神宮師檀弁	二〇

神家常談聞書	八
新古今和歌集	二九
新猿楽記	三〇
神事故実	八
神社奥秘伝	六
信州諏訪家騒動御仕置書留	二五
仁説	二二
新千載和歌集	三〇
(神代紀聞書)	六
神代記下卷開講	六
神代系紀	六
神代上卷聞書略	六
神代卷一書聞書	五
神代卷秘訣	五
神代卷秘幽	五
身代柱立	二二
人道職分記	二二
神道喪祭	八
神道秘訣	八
神道平談	七

(慶長以来)新刀弁疑	二〇
新都賦	三
神都名勝誌	二六
神拝之祝詞	七
人馬駄賃帳(碓氷関所)	二六
新百人一首	二五
神別本紀	六
神武紀(聞書)	六
神武紀聞書	六
神武紀聞書并余話	六
新無名抄	三
(神武ヨリ東へ西国ノ名)	九
神明憑談	七

又

翠雲軒翁点憲之詠草	四二
垂雲軒(澄月)八十賀筵全集	三六

隨筆合類……………	三
鈴屋大人都日記……………	三三
〔硯箱の取扱並に書状札式〕……………	三五
〔鼈外雜聞書〕……………	四
須磨之日記……………	二二
駿話本別集……………	二四

七

井蛙抄……………	二五
晴雲伝……………	七
清見寺之記……………	二二
清渚集……………	三〇
聲母伝……………	八
清涼殿色紙形御和歌……………	二七
（はいかい）席吟合類……………	四九
席吟発句合……………	四六
尺牘諺解……………	五
節会文字鎖略解……………	二七
蟬時雨……………	四四

前漢書評林抄出……………	六
千句前集……………	四四
仙石治部延之一周忌……………	六
先師川合翁師伝口訣書留……………	二七
千秋万々歳……………	一五
千首和歌拔書……………	二七
先代旧事本紀偽書考評説……………	六
仙洞元禄 <small>十二年</small> 和歌御会始……………	三

ソ

草庵集諺解難注是非僻案……………	二六
草庵和歌集類題……………	三
造伊勢二所宝基本紀……………	九
宗祇法師筑紫紀行……………	四五
箏曲鈔……………	四
創禊弁……………	七
喪祭触穢……………	八
藏山集……………	三
宗匠家談話……………	二六

贈答和歌……………	四
増補和歌作法……………	二七
（祖翁芭蕉追憶記）……………	五〇
続後拾遺和歌集……………	三〇
続つしまの渡集……………	二七
続耳底記略……………	二六
続無名抄拔書……………	二六
続遊和草……………	八
素書……………	二
袖の追風……………	三
磯馴衣……………	三
園梅かしくの枝状（後編）……………	一八
それならば……………	四四

夕

大学章句授蒙資講……………	二
大学章句序抄……………	二
大愚慈延書簡……………	六
大嘗会御和歌……………	四四

大神宮御法樂千首和歌	三
大神宮服忌令	二〇
大清特憲曆抄出	五九
大日尊神中臣稜天津祝太祝詞問	七
文ノ伝	七
隆久詠歌	四三
竹口先生講義聞書	八
多氣窓螢	四
太刀折紙聞書	五
太刀折紙目錄	五
伊達秘録	一四
手まくら	一八
手向草	四三
たむけの説	八
為尹千首和歌	三
為世卿和歌秘事記	二五
袂の塵	三
足土根記	八
太郎集	四

子

ちから草	五
地教用節集	五
竹洞梅逸遺印譜集	五
竹譜	五
知多郡龜崎港商品及船舶出入表	六一
池凍帖	五
茶花押譜（茶家醉古集）	五
茶人大系譜	五
茶之湯覚書	五・五
茶之湯聞書	五
茶湯聞書	五
茶之湯式	五
（澄月詠草）	五
澄月五七日追善会和歌	三
澄月詩歌入り文	六
澄月上人三回忌追悼夏述懐	四
澄月書簡	三

澄月書狀	三
澄月先生（宗匠）添削和歌留書	三
澄月法師千首	三
（澄月・桃沢匡衛応答歌）	三
張城人物誌	四
朝鮮信使詩賦筆談并書翰	五
朝鮮人難波の夢	六
長明海道記	三
勅撰和歌集序類	二四
千代しるし	五

ツ

追善和歌合類（知之隨筆）	三
追悼	五
次信最期	五
（宗祇法師）筑紫紀行	四
津島踊記	二〇
津島祭祀	二〇

津島四家七氏略伝……………	二五
津島神官堀田番頭大夫歴代略……………	二一
津島天王年中行事……………	二〇
津島八景序文和歌……………	一九
津島渡集……………	一七
津島渡六月大祭之事……………	一〇
蘿の葉風……………	五
土御門院御製百首……………	三
〔綱富詠草〕……………	三
〔綱根他詠歌〕……………	三
角文字……………	三
梅雨の筆すさみ……………	三
釣船……………	三
〔新板絵入〕つれづれ草……………	一九

テ

辞玉櫛……………	二七
手丹遠葉切紙二重口伝……………	二七
天巖大和尚八十賀詠百首和歌……………	二五
天狗儒評記……………	四
添削脇書之留〔長雄・長伯一叢〕……………	二九
〔澄月先生〕添削和歌留書……………	二九
天地人総系図……………	七
天王橋由来……………	四
天保三辰歲月並兼題……………	二九
天保三年月次兼題……………	二九
天満宮影供廿五題……………	二九
天満宮奉納和歌……………	二七
天武紀聞書并夜話隨筆……………	二〇

ト

十市遠忠筆写……………	二五
東国紀行……………	三
東照宮御遺訓……………	三
当世鍼灸……………	六
塔沢紀行……………	三
東百官付考……………	五
当流書礼集……………	五
時綱先生隨筆之拔書……………	二
読温知政要編……………	七
独吟名所百首……………	二
独吟名所和歌百首……………	二
毒語……………	四
土佐日記……………	三
〔俳諧〕友はくれ……………	四
友部氏学談聞書……………	三
知之詠……………	四
〔知之詠俳句卷〕……………	四
知之翁藏書目錄……………	一
〔知之翁津島八景和歌〕……………	一
〔知之翁連句會記〕……………	四
知之自詠独吟五十首……………	四
知之隨筆……………	二・三・一九
〔合類〕知之隨筆……………	三
〔俳諧〕知之隨筆……………	三

知之隨筆（見聞雜著）	三
知之隨筆（雜記）	二
知之隨筆（抄出）	三
知之隨筆（抄出合類）	三
知之隨筆（点取俳諧）	三
知之隨筆（俳諧・漢詩）	三
知之隨筆（俳諧合類）	三
知之隨筆（俳諧雜著・紀行合類）	三
知之隨筆（和歌）	三
知之隨筆（和歌合類）	三
知之隨筆（和歌雜記）	三
知之隨筆（和歌・俳諧合類）	三
知之六十の賀	三
豊受皇太神御鎮座本紀（聞書）	九
豊受皇太神御鎮座本紀聞書	二〇
豊受皇太神正中御饗記	二〇
とはしくさ	二〇

ナ

内宮正遷宮行事記	九
内外宮御神財目録	九
七とせ乃手向	三六
〔難波紀行和歌〕	三
難波御覽記	三
なにはつ	三
（尾張海）那濃利蘇和歌集	三
浪合記	二四
南無俳諧	二七
難藏山集	二四

二

錦織記	四
西三条家会始	三
廿五題百首	三六
二十四章孝行録	三
廿二社聞書	六
二条院讃岐家集	三
二条家正統点伝授書目	六

ネ

二条家伝来之秘訣	二六
日光道乃記	二六
日本外史	二四
日本書紀神代卷聞書	六
日本書紀神代卷古義一書	五
日本書紀神代卷古義本文	五
日本書紀神代卷復講聞書	六
入道前関白太政大臣家百首歌	二九
願糸竹（下編）	六
年中行事歌合	三
年中行事歌笑考	三

ノ

濃路紀行	三
野路のすさみ	三
野芹	七

後のかつら	……………	四〇
憲之詠歌懐紙	……………	四〇
(七代目)憲之翁詠歌	……………	四一
憲之・香長詠歌	……………	四一
憲之自詠歌集	……………	四二

ハ

俳諧廿五ヶノ秘訣	……………	四七
俳諧蓮の葉かぜ	……………	四七
俳諧筆陣	……………	四七
俳諧雪まろけ	……………	四七
売魚翁伝	……………	四八
俳句「菊の香に」	……………	四八
俳句短冊	……………	四八
俳事合類	……………	四九
(香雨評)俳事合類	……………	四九
俳事隨筆	……………	五〇
(白尼歳旦)	……………	五〇
羽倉草	……………	五〇
はし書ふり	……………	五一
芭蕉越人・其角越人両吟	……………	五一
芭蕉翁百年忌追悼之俳諧	……………	五一
葉すゑの露	……………	五二
蓮の露	……………	五二
(俳諧)蓮の葉かぜ	……………	五二
長谷川有則・木村信民口上	……………	五三
八代集秀逸和歌	……………	五三

初錦木物語	……………	二
初ゆき	……………	四
はな笠	……………	四
はな木の花	……………	四
花野の旅	……………	四
花野のにしき	……………	四
花本御会和歌	……………	四
浜荻日記	……………	三
浜千鳥	……………	三
春の家つと	……………	三
はるの日	……………	三
半元服乃賀	……………	三
伴蒿蹊書簡	……………	三
万宝全書	……………	三

ヒ

秘訣法式大略	……………	五
秘訣法式大略(神道秘訣)	……………	五
秘訣法式大略(草稿)	……………	八

非四論……………	四〇
ひとひの物語……………	三九
百廿番句合……………	三七
百人一首古説……………	三五
百人一首鈔……………	三五
病後の贈答……………	三〇
碑類……………	三三
広田社歌合……………	三三

フ

(風月詠草)……………	四三
風流俗説弁……………	四四
(舞樂譜)……………	四四
ふくさ貝……………	四四
普化宗門寺院録……………	二一
藤川百首……………	三〇・三九
藤川百首合類……………	三〇
不識菴東往和尚追福詠七首和歌……………	三六
ふじの窟……………	二八

扶桑拾葉集……………	一九
禁の家つと……………	三三
無夜食談……………	四四
冬の日……………	四五
冬のひかり……………	四五
補略……………	四
聞見雜録……………	二
文公家札……………	三
(文政十年九月七日)……………	四三
兵家茶話抄出……………	三
丙辰紀行(澄月訪問吟行)……………	三三
碧巖百則和歌……………	三六

へ

戊寅冬雜記……………	二五
芳雲類題拔書……………	三三

ホ

芳雲和歌集類題……………	三三
宝永十条……………	七
(造伊勢二所)宝基本紀……………	九
(磯谷・岡田両学士)豊山廿五景詩……………	五
蓬萊百人一首姫鏡……………	四
(宝曆歌会和歌集)……………	三六
細井先生講席の余話……………	三
堀田家系……………	一五
堀尾春芳老翁講筵余話……………	八
本語和訓之別……………	一七
本朝学原……………	五
本朝鍛冶考……………	六
まにふんて……………	四〇
万葉集秘抄……………	四
万葉新採百首……………	四

マ

ミ

遊和草	八	梁塵愚案抄	五
之仲翁十五首和歌	七		
之仲歌集	七		
〔之盈等詠草〕	四		
湯沢紀行	三		

ヨ	
謡曲	五
謡曲内百番	五
謡曲外百番	五
謡曲百番	五
養老滝乃弁	六
吉川家譜略	八
芳野吟行	三
吉野参詣記	三

ラ	
洛書諺解	七
洛陽大火行	五
蘿窓集	四
蘿葉集	四
らりるれろへノ歌	九
嵐山曙花御遊記	五

リ	
利休百会茶会記	五
〔利休居士会席之覚〕	五
略法華経	二
柳宮御連歌	三
柳宮夜話	三
琉球人来聘之紀事	二
立圃句集	四
〔烏丸・平松〕両卿御懷紙写	五

ル	
類題発句集	四

レ	
冷泉家御点和歌	四
冷泉家御着到百首	四
冷泉為村卿和歌物語	五

ロ	
六韻一叶	六
六家集〔拾遺愚草員外雑歌〕	三
六家集抄出	六
路行記	六
〔六十之賀〔和歌入〕〕	六
論語并孟子講義聞書	三

三	
四	
五	
六	
七	
八	
九	
一〇	
一一	
一二	
一三	
一四	
一五	
一六	
一七	
一八	
一九	
二〇	
二一	
二二	
二三	
二四	
二五	
二六	
二七	
二八	
二九	
三〇	
三一	
三二	
三三	
三四	
三五	
三六	
三七	
三八	
三九	
四〇	
四一	
四二	
四三	
四四	
四五	
四六	
四七	
四八	
四九	
五〇	

7

和歌聞書	二五	和歌留書草	三〇
和歌極秘伝抄	二六	和歌之談並二奉納和歌	二六
和歌虚実之事	二七	和歌藤波集	四一
和歌口決十体等秘抄	二八	和歌文通等留書	二九
和歌口伝	二八	（冷泉為村卿）和歌物語	三五
和学弁抄出僻考	二九	わか丸霜（知之追悼）	四一
（壬寅上都）和歌見聞筆記	三〇	和漢三才図会	三六一
和歌合類	二七	（俳諧）和漢文藻抄出	四七
和歌雜記	二六	和漢牡丹合	四八
和歌雜著	二四		
和歌三首「心静延寿」	二四		
和歌三十体	二六		
和歌四式	二六		
和歌隨筆	二二		
和歌短冊	三五、四〇、四一		
和歌点伝授秘書	二六		
和哥留書	三三		

昭和五十七年十二月二十日印刷
昭和五十七年十二月二十五日発行

堀田文庫蔵書目録

編集 名古屋市蓬左文庫
発行 名古屋市東区徳川町一〇〇一
印刷 三帰プリンテイング

特定無料 四〇〇部
